

# 議会だより

## にしあいづ No.117

2012.4.27

発行：福島県西会津町議会

編集：議会広報特別委員会



- 3月議会定例会の内容は . . . . . 2
- 平成24年度予算総額85億8,998万円を可決!! . . . . . 2~3
- 平成24年度主な新規事業 . . . . . 4~5
- 条例制定及び改正、補正予算 ほか . . . . . 6
- ここが聞きたい！一般質問12人が登壇 . . . . . 7
- 第1回・第2回議会臨時会報告 . . . . . 13
- 西会津小学校PTA副会長 市橋修一さんにインタビュー . . . . . 14

おめでとう！新入学（西会津小学校入学式より）

# 万円を可決！！

## 前年度比 3.6%減

### 3月議会 定例会報告



町民の安全・安心のために

平成24年度当初の町の貯金と借金

貯金 7億2,486万円

借金 50億3,297万円

※貯金は財政調整基金の金額。借金は地方交付税で交付される分を除いた実質の金額。なお、地方交付税で交付される金額は62億7,707万円。

平成24年3月議会定例会を3月9日から22日まで、14日間の会期で開きました。

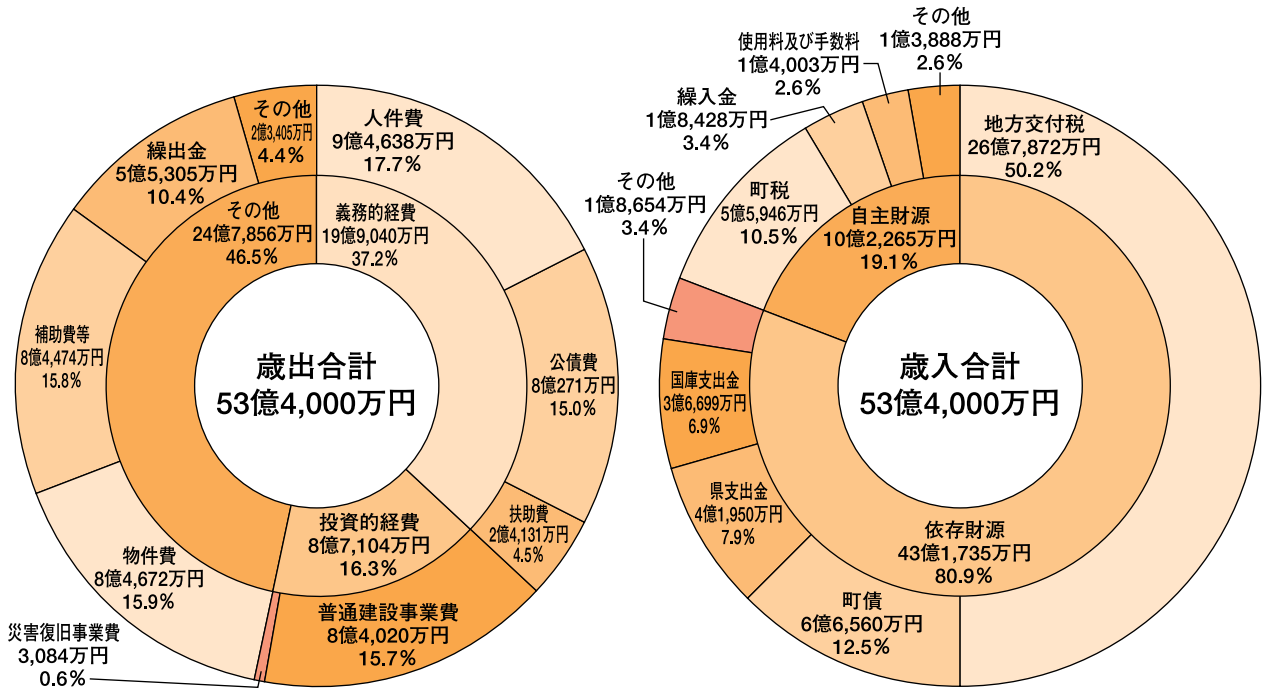
提出された議案は、平成24年度当初予算案をはじめ、法定外公共物の管理に関する条例や新たなインターネットサービスの項目を追加するための電気通信事業条例の改正、平成23年度の一般会計等補正予算、副町長の人事案件など33件で、全ての議案を原案のとおり可決しました。

一般質問では、議長を除く議員12人全員が登壇し、町の考えや対応を問いただし、たいへん活発な議会定例会となりました。



# 平成24年度当初予算

# 予算総額85億8,998



- 人件費～職員の給料や手当、議会議員や各種委員会の報酬などに要するお金
- 扶助費～子ども手当や障がい者支援など、児童や高齢者、障がい者福祉に要するお金
- 普通建設事業費～道路の改良や施設整備、高額な備品購入に要するお金
- 物件費～消耗品の購入や委託料、旅費など、消費的性質を持つお金
- 補助費等～負担金、補助金など町から交付するお金
- 線出金～特別会計や基金（積立金）に線出すお金
- 依存財源～国や県から交付されるお金
- 自主財源～町が自ら収入することができるお金
- 地方交付税～一定水準の行政サービスができるよう、町の財政状況に応じて、国から交付されるお金
- 町債～道路の改良や施設の整備などを行う場合、その資金として長期的な借入れをしたり、地方交付税の代わりに財源不足を補うために借入れするお金
- 線入金～基金（積立金）や特別会計から入るお金

会 計 名	平成24年度予算額	平成23年度予算額	増 減 率	
一 般 会 計	53億4,000万円	56億2,200万円	△5.0%	
特 別 会 計	工業団地造成事業	8,868万円	8,868万円	0.0%
	商業団地造成事業	1,382万円	1,682万円	△17.8%
	住宅団地造成事業	1,404万円	1,480万円	△5.1%
	下水道施設事業	2億2,754万円	2億3,370万円	△2.6%
	農業集落排水処理事業	1億48万円	9,655万円	4.1%
	個別排水処理事業	4,916万円	6,600万円	△25.5%
	後期高齢者医療	1億601万円	1億552万円	0.5%
	国民健康保険	10億1,259万円	10億532万円	0.7%
	介護医療保険	2億6,322万円	3億9,238万円	△32.9%
	簡易水道等事業	9億4,588万円	9億4,223万円	0.4%
水道事業会計	収益的収支	1億4,980万円	1億4,920万円	0.4%
	資本的収支	1億7,592万円	9,060万円	94.2%
合 計	85億8,998万円	89億1,485万円	△3.6%	

# 平成24年度 主な新規事業

## 教育の振興・人材の育成

### インフルエンザワクチン接種事業

229万円

妊婦及び0～18歳未満の子どもを対象に、インフルエンザワクチンの予防接種費用から、自己負担1千円を差し引いた残額を助成します。

### 西会津小学校校舎整備事業

2億2,300万円

西会津小学校の新築工事にかかる実施設計書の作成5千万円、用地の買収費及び補償費9,300万円、用地の造成工事8,000万円を計上し、校舎整備事業を進めます。



▲新校舎完成予想図



◀西会津小学校開校式

## 地域経済の活性化

### 奥川ライスセンター機能強化支援事業

540万円

奥川ライスセンターの機能強化のため、糊摺り機の更新と粗選機の導入を図ります。

### 商業施設整備

500万円

商業団地A区画について、今後のあり方などを調査します。

### 商店街街路灯整備

1,043万円

野沢駅前から国道49号



機能強化される奥川ライスセンター

### まちなか整備計画策定事業

100万円

野沢まちなかの道路整備や公園整備の計画を策定します。

### ふくしま復興町内企業支援補助金

200万円

震災の風評被害等で低迷している町内企業への支援として、新規学卒者採用支援や復興資金融資

### さゆり公園周辺施設改修

600万円

保証料支援を行います。

### 携帯電話鉄塔整備

6,184万円

携帯電話の通話エリア拡大のため、ケーブルテレビ伝送路を利用し、鉄塔の整備を行います。今年度は、弥平四郎と弥生地区に整備します。



野沢駅前通りに街路灯を整備



フレンズワールドの遊具を改修



# 健康づくりと安全安心

**健康** 健康がいちばん推進事業

775万円

町民の健康を守るために、健康への関心を高める講演会の開催や家庭での生活の改善、身近な運動の普及を進めます。また、放射能を調査し、健康管理に役立てます。

**町民バス** 運行事業

7,667万円

デマンドバス方式などによる町民バスを運行します。

**町道寺ノ上線道路整備** 事業（尾登自治区）

330万円

幅員が狭く一般車両の通行や冬期間の除雪等の問題を解消するため、町道寺ノ上線の改良舗装工事にかかる測量設計・用地測量を行います。

**水道** 未普及地区整備事業

1,100万円

水道未普及地区である甲石地区の水道整備を行います。

**青坂簡易水道水源施設** 整備事業

1,260万円

東日本大震災により、水質が悪化した青坂簡易水道の水質改善工事を行います。

**防災** 行政無線整備

1,550万円

防災気象情報をはじめとする行政情報の伝達手段としての防災行政無線が、長期間の使用により老朽化したことから、年次計画により更新を図ります。平成24年度は、役場庁舎内の放送設備の更新を行います。

# 予算に関する

## 主な質疑

青木照夫議員

身体の健康も大切であるが、心のケアも必要と思われる。健康がいちばん推進事業の中で、その点の事業展開は。

健康福祉課長

働き盛りの方々を対象とした心のケアの講演会、高齢者の方々を対象とした認知症予防の講演会を開催する。

長谷沼清吉議員

一般会計の総予算額が約3億円の減額であるが、その要因は。

総務課長

主な増額要因は、簡易水道の整備関係経費、緊急雇用創出基金事業にかかる経費、消防施設整備経費、西会津小学校校舎建築の実設計・用地取得、補償などである。一方で、ケーブルテレビ高度化事業、高齢者施設等のスプリンクラー工事、生活環境づくり支援事業、野沢小学校の改修工事などで大きな減額があり、トータルすると2億8,200万の減額となる。

猪俣常三議員

予算総額が減額となっている中で、一般会計から特別会計への繰出金が多くなっているようだが。

総務課長

一般会計から特別会計への繰出しについては、特別会計ごとのルールに基づいて繰出しを行っている。

多賀剛議員

歳入で、町税が増額で見込まれているが、その要因は。

町民税務課長

主な要因は、現年分については、景気が回復傾向にあることから、法人町民税の増収を見込んだ。滞納繰越分については、徴収対策の強化による増収の増を若干見込んだ。



町民一人一スポーツを目指して



運行を開始したデマンドバス



役場2階の放射能検査窓口



## 条例の制定及び改正

本定例会には、条例の制定及び改正の議案が6議案提出されました。

5議案については全会一致で可決しましたが、町介護保険条例の一部を改正する条例は採決を行い、可決しました。

### 町法定外公共物の管理に関する条例

国が管理してきた赤道、水路等について、町が法定外公共物として譲渡を受け管理するにあたり、必要事項を規定する条例の制定です。

### 町電気通信事業条例の一部改正

インターネットサービスに、新たに回線速度下り最大30Mbpsのサービスを提供する「アドバンス」の区分を追加する改正です。

特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正  
社会体育指導員をスポ

ーツ推進委員に改めるなどの文言の整理のための改正です。

### 町税条例の一部改正

復興財源確保のため、平成26年度から35年度まで、個人町民税の均等割額に500円加算することなど、地方税法の改正に伴う改正です。

### 町介護保険条例の一部改正

平成24年度以降の65歳以上のかたの基準保険料を年額5万2,200円に、月額にして4,350円に引き上げるための改正です。

### 討論

#### 反対

#### 鈴木満子議員

本町の介護保険料の値上げ幅は、全国平均の値上げ幅より大きく、年金生活者には過酷な負担増である。介護を受けないという人も多くなると思われるので、断固反対する。

#### 採決

賛成9・反対3で可決！

町営住宅条例の一部改正  
住宅の入居資格から同居親族要件を削除する改正です。

### 平成23年度補正予算

一般会計、住宅団地造成事業特別会計等7つの特別会計において、国庫補助事業等の事業費確定に伴う補正や既定予算の全般にわたる最終的な整理のほか、年度内の必要経費の計上及び年度内の完了が見込めない事業の経費を次年度へ繰越すための補正予算が計上され、全ての補正予算を全会一致で可決しました。

## その他

### 町道の廃止・認定

町道野沢柴崎線を橋立2号橋の完成により、路線を変更するため一旦廃止し、終点を変更して新たに認定したほか、2路線を町道に認定しました。

辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更  
奥川中町地区の消防ポンプ自動車について、平成24年度の辺地対策事業債を活用し、整備するための計画の変更です。

### 町過疎地域自立促進計画の変更

野沢駅前から国道49号線までの商店街街路灯整備事業や町道寺ノ上線改良工事の整備延長の変更について、平成24年度の過疎対策事業債を活用し、事業を行うための計画の変更です。

### 辺地対策事業債とは…

辺地を包括する市町村が事業を行うための資金として、国から借り入れできるお金。なお、償還額の8割は、国から交付される普通交付税に措置される。

### 過疎対策事業債とは…

過疎地域の市町村が事業を行うための資金として、国から借り入れできるお金。なお、償還額の7割は、普通交付税に措置される。

## 請願陳情

次の請願1件、陳情1件を採択しました。

また、意見書2件を内閣総理大臣等政府関係機関に提出しました。

### 採択した請願（敬称略）

■福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願について  
請願者 日本労働組合総連合会福島県連合会耶麻喜多方連合議長 秋山光晴

の実現と、住民の命と健康を守り、補償の実現、安心して暮らせるふるさとを取り戻すための取り組みを求める陳情書  
提出者 福島県平和フォーラム代表 竹中柳一

### 提出した意見書

■福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書  
提出先 内閣総理大臣、厚生労働大臣ほか

■福島県における脱原発の実現と、住民の命と健康を守り、補償の実現、安心して暮らせるふるさとを取り戻すための取り組みを求める陳情書  
提出先 内閣総理大臣、総務大臣ほか

## 副町長人事案件に同意

～新副町長に藤城良教さん～



専修大学法学部卒。平成3年福島県職員に採用。県立医科大学学生部学生課をふりだしに、大笹生養護学校、農林総務課、職員厚生課、議会事務局、企画調整課などに勤務。43歳。喜多方市出身。



# 町政のここが聞きたい 議員は問う 12人が登壇

## こんな質問をしました（質問順）

- 三留正義議員
  - ①農業と放射能について
  - ②ミネラル野菜と今後の農産振興について
- 猪俣常三議員
  - ①教育施設と今後の課題について
  - ②新年度の予算について
  - ③災害発生後の環境問題について
- 長谷川義雄議員
  - ①町の防災対策について
  - ②新年度の学校教育について
  - ③町民が安心して暮らせるために
- 伊藤一男議員
  - ①再生可能エネルギー利用について
  - ②町道上野尻村中線克雪対策について
  - ③統合小学校開校の取り組みについて
- 渡部憲議員
  - ①あいづダストセンターに仮置きされている下水道汚泥及び溶融ダストについて
  - ②町内を流れる流雪溝について
  - ③奥多摩工業会津工場の事業の縮小及びゼオライトの今後の見通しについて
- 鈴木満子議員
  - ①野沢保育所の子どもの送迎について
  - ②生活環境づくり支援事業の継続について
- 多賀剛議員
  - ①新年度当初予算の特徴と重点施策について
  - ②臨時職員、委託職員の採用について
  - ③小中学校の防災計画、防災教育について
- 青木照夫議員
  - ①医療の充実について
  - ②認知症患者の取り組みについて
- 荒海清隆議員
  - ①町の放射線対策について
  - ②再生可能エネルギー導入の考えは
  - ③福祉事業への新たな民間企業の参入について
- 五十嵐忠比古議員
  - ①統合小学校児童の通学について
  - ②新潟・福島豪雨被害復旧対策の進捗について
- 清野佐一議員
  - ①町政への取り組みについて
  - ②農政について
  - ③安全・安心のまちづくり
- 長谷沼清吉議員
  - ①安全・安心なくらしのために
  - ②新エネルギービジョンについて
  - ③第5期介護保険事業計画について

問 小学校開校時は、町内の学校からの教員の配置を

答 県教育委員会に要請をしている

伊藤一男議員

問 (1) 西会津小学校開校時は、保護者や児童の不安や精神的な負担をケアできるように、町内の各小学校にいた教員をバランスよく配置することが望ましいと思うが。

(2) 小学校新学習指導要領が完全実施され、授業時間が増え、学力差が生じることにつながるのか。

(3) 豊間小との交流事業は、被災された児童を元気づけるため、夏も本町に招待して実施してはどうか。

教育長

(1) 教員については、県教育委員会に対し、町内5つの小学校から可能な限りの異動を要請しているところである。

(2) 児童同士が多様な考えを述べ合い、切磋琢磨したりしながら学ばせ、一人ひとりの児童に、より確かな学力を身につけ

させ、学力差につながらないように努める。

(3) 平成24年度の交流事業については、いわき市教育委員会と協議しながら検討する。

町長 本事業は、社会資本整備総合交付金事業で実施する。

問 上野尻村中線の克雪対策として実施する、消雪パイプ設置事業の実

平成24年度は、消雪パイプ430mと消雪用井戸2カ所の消雪施設設置工事を行う計画である。



昨年度のいわき市豊間小学校と冬季交流事業



問 小学校の通学に関する説明はしたか

答 昨年説明会を実施した

問 4月より西会津小

学校が開校するが、昨年町内では、数件の不審者出没情報があった。児童の登下校時の安全対策として、小中学生は専用のスクールバスで通学することになるが、保護者への説明対応について伺う。

教育課長

スクールバスの運行に係る保護者・PTA等への説明は、昨年9月下旬から10月上旬にかけて、学校区ごとに小学生の保護者を対象に説明会を実施した。

問 昨年の新潟・福島豪雨において、本町では家屋の浸水、町道の決壊、農地や農業施設等に甚大な被害を受けた。阿賀川の増水で田畑が冠水したが、復旧工事の進捗は。併せて、銚子の口の復旧計画についても伺う。

五十嵐 忠比古議員

建設水道課長

農地災害復旧工事は3工区に分割し、2工区は雪解け後速やかに工事を再開し、作付け前の工事を完成を図る。残りの1工区は、作付け前の工事完成が困難であるため、9月末を工事完成予定とし、

本年は休耕していただくこととした。

商工観光課長

銚子の口は、平成24年度に東屋や木柵等の整備、観光案内板や簡易水洗いレの設置などを予定している。来年度以降も、計画的に整備を進める。



災害前の銚子の口の美しい景観

問 流雪溝の雪詰まりに対する対応は

答 土砂の撤去等を行っていく

渡部 憲議員

問 野沢町内を流れる

流雪溝は、冬期間、特に北側流雪溝が雪詰まりや凍結により、道路の冠水や床下浸水などの被害が多発している。大至急水路の改修工事に着手すべきと思うが、町の対応は。

建設水道課長

流雪溝に雪が詰まる原因は、河川水の濁水による水量の不足と流雪溝の



雪が詰まると水があふれる流雪溝

底に土砂が堆積していることと考えている。このことから、取水口からの必要水量を確保するための仮設工事や流雪溝の底に堆積した土砂の撤去を行っていきたいと考えている。

なお、克雪活動実行委員会と連携を取りながら、流雪溝使用のルールの周知や守ってもらうための仕組みづくり、流雪溝の施設整備に取り組んでいく。

町長

問 最近の不況により、奥多摩工業会津工場の事業の縮小が伝えられているが、事業と雇用の継続に向けた町の対応は。

町としても放射能除染対策で、ゼオライトが脚光を浴びていることから、国や県、東京電力等に活用を要望してきた。

過般、奥多摩工業より、5月から事業を再開するとともに、従業員についても継続雇用する予定との連絡があったところである。



**問** 西会津縦貫道路の柴崎から奥川間の整備は

**答** 奥川中町地内の改修工事の目処が立っていない

猪俣常三議員

**問** 西会津縦貫道路の整備が進められているが、野沢の中心部に奥川から15分で結ぶように、柴崎から奥川までの間の早急な予算化を求める。

**町長**

柴崎から中町区間は県道区間であり、通行に支障があることから、県に要請要望を行っている。樟山バイパス事業につ



バイパス事業が進められる樟山地内

いては、用地買収や笹川に架橋される橋梁の詳細設計が取り組まれることになっているが、中町地内の改修工事は、まだ事業化の目処が立っていない。

**問** 子育て支援に育むまちづくりの予算の中で、子育てと結婚を

は。

**町長**

子育て支援においては、第3子以降の出産祝金の支給、保育児童2人目以降の保育料無料化など、平成24年度も継続実施する。結婚支援については、結婚祝金の支給、後継者対策事業の婚活事業を継続していく。

**問** 野沢保育所の児童の送迎があぶない

**答** 駐車場づくりを検討したい

鈴木満子議員

**問** 野沢保育所前の道路の道幅が狭いため、送迎に安心して通行できる環境ではない。3台の駐車場に入るため、4台から6台の車が列を作っている状況である。事故が起きないうちに、一日も早く対応を考えるべきと思うがどうか。

**健康福祉課長**

野沢保育所に通じる町道は狭いため、冬期間においては積雪によって通行しづらく、朝夕の送迎時間帯には、保護者の車が数台車列をつくっていることは確認している。道路の拡幅は、道路周辺には住宅が密集しているため、用地取得が困難などの課題もあり、現実的には難しい。

**問** 大通り側に空き地と空き家があるので、そこを利用し駐車場にすれば、保育所に直進できる

と思われる。平成24年度の予算に計上して、借用するか買い上げるか検討して、一日も早く解決すべきではないか。

**健康福祉課長**

提案のあったことについては、今後、土地と建物の所有者に相談をして、利用が可能かどうかを検討していきたい。



道幅が狭い野沢保育所前の道路

問 雪崩への安全対策は

答 看板の設置を実施する

清野 佐一 議員

問 今冬も大雪に見舞われ、2月4日には豪雪対策本部が設置され、今後、心配されるのが雪崩である。通勤や通学、デマンドバス運行の安全確保のために、土砂災害と同様にハザードマップの作成や看板の設置をすべきと思うがどうか。

建設水道課長 不特定多数のかたが利用する道路の雪崩危険箇所への対処としては、雪崩が発生する恐れのある路線や箇所を明示した地図が有効であるので、作成について検討する。



雪崩の危険箇所には看板を

また、看板による注意喚起が効果的であるので、危険箇所の調査と合わせ、看板を設置する。

問 本町のサル、クマ、カラス等による農作物被害は甚大であり、近年はイノシシの出没により、更に被害が増大している。

狩猟免許を持たない人でも講習を受ければ、わなによる有害鳥獣捕獲の補助者になることができ、る「わな特区」の認定を受ける考えはあるか。

農林振興課長

「わな特区」が被害防止対策に一定の効果を期待できることから、新たな鳥獣保護事業計画に本制度が位置付けされるように要望するとともに、位置づけがなされれば、速やかに対応する。

問 放射能対策は万全か

答 放射能対策には力を入れて進めていく

長谷沼 清 吉 議員

問 放射能対策について、町長は最大限取り組みる範囲で取り組んできたいと言っているが、

(1) 乳幼児や児童が通う施設で、高濃度の汚泥が見つかった。今後、全ての公共施設の調査をする考えは。

(2) 柳津町にあるダストセンターでの空間放射線量の調査の立ち会い等



保育所等の公共施設の放射線量調査は

は、柳津町では全て担当課長が立ち会っている。本町はほとんど担当職員が立ち会っている。

これでは町民の安全は守れない。

今後の対応は課長がすべきであると思うが。

町民税務課長

(1) 雪解けを待ち、改めて全ての公共施設、全17施設の空間放射線量を測定する。これまでの数

値との比較、周囲との比較をしながら、数値が高いところについては対処をしていく。

(2) できることなら、全て課長が立ち会えればよかったが、残念ながら立ち会えなかった。本来は、課長が立ち会うべき重要なものである。

今後は、町民の安心・安全、放射能対策には力を入れて進めていく。



**問** 消防団員が安心して活躍できる環境にあるか

**答** 各種制度により手厚く補償されている

長谷川 義 雄 議員

**問** 火災や風水害から住民を守る消防団員の処遇は、現在どのようなものであり、安心して活躍できるように改善すべきことはないか。

**町民税務課長**  
消防団員は、地方公務員法の特別職の公務員となっている。

本町の消防団員は公務災害補償制度をはじめとした、各種の制度や共済



消防団員が安心して活躍できる環境を

制度への加入により手厚く補償され、安心して活動できる環境にある。

**問** 平成24年度から、中学1・2年生においては、男女とも武道とダンスの両方を学ぶことになるが、武道の安全対策は十分か。

**教育長**  
平成24年度から、新しい学習指導要領により、

武道が必修となることから、西会津中学校では、剣道を選択した。

剣道については、中学校開校以来、部活動として実施しており、指導にあたっては、これまでも十分に対応してきている。

また、指導的にも柔道と比べると、安全面にも十分配慮して実施できる。

**問** 乳幼児保育の待機児童は解消されるのか

**答** 4月から解消する

多 賀 剛 議員

**問** 昨年9月定例会で提案した乳児保育の待機児童解消の件はどうなったか。

また、野沢保育所は定員が満員のようだが、芝草保育所はゆとりがある。バランスの良い児童の入所への工夫はされたのか。

**町長**  
指定管理者である、にしあいづ福祉会や現場の保育士と対応策について協議した結果、既存の職員室を保育室に拡張し、受入児童数を増やすことで解消する。

**健康福祉課長**  
へき地保育所への入所も案内をしているが、給食があることや兄や姉が既に野沢保育所に入所しているなどの理由があり、現状に至っている。

**問** 町の雇用を支える地元企業、事業者への各種支援策についての実績

と効果、今後の展望について伺う。継続雇用につながる雇用対策について、以前から申し上げているが、新卒者の新規雇用奨励金は検討されたのか、今後の対策を伺う。

**商工観光課長**  
平成23年度新たに、町内企業が行う職員研修や資格取得費用の一部を助

成する、町内企業支援事業を創設した。継続要望が出ている。

平成24年度には、新たに東日本大震災復興基金を活用し、町内に住所を有する新規学卒者を雇用した企業に、1人当たり10万円を補助するなど、引き続き町内企業への支援を図っていく。



新規学卒者の雇用に補助を  
(西会津高校町内企業見学会)



## 問 軽量農業の開発・導入をしていくか

## 答 高齢化に対応できる農林業を振興していく

問 農業と放射能の観点から伺う。

(1) 農業の生産規模によって作物クズの量が比例して多くなるが、利用に際し、放射能の不安はないか。

(2) 土壌の安全はだけが管理・監督するののか。

### 農林振興課長

(1) 県から示された基準によると、玄米との移行率の関係から、玄米が133ベクレル/kg以下の籾殻が利用可能とされている。不検出がほとんどの本町においては、利用の制限はない。

### 町長

(2) 原子力災害対策は基本的に国の責任において進めるもので、土壌調査はすでに、3回実施されている。3回目の調査結果も、国から近日中に発表される。

問 農業者の高齢化と、

## 三 留 正 義 議員

年金支給年齢の引き上げを鑑み、ミネラル野菜と並行して、農業未経験者でも取り組める、軽量農業の開発・導入が急務ではないか。

### 農林振興課長

ミネラル栽培野菜の生産拡大による産地化を推

進してきた。複数の高齢農業者夫婦が軟白ネギの栽培に取り組まれたり、冬期間における葉物野菜、花卉栽培への取り組みもあり、今後も高齢化に対応できる農林業の振興に努める。



軽量農業の取り組みは

## 問 高線量の場所への今後の対応は

## 答 雪解けを待って、適切に対処する

荒 海 清 隆 議員

問 ホットスポット的に高線量の場所が出ていますが、町の対応と今後の対策について伺う。

### 町民税務課長

昨年9月に保育所、小学校、公民館等の17施設の空間放射線量を測定したところ、生活空間放射線量は0.13から0.21マイクログシーベルトと他の施設よりも比較的高かった野沢保育所、芝



高線量の場所への早急な対応を

草保育所、野沢小学校の側溝汚泥について、子どもたちの安全性を確保する観点から除去をした。今後の対策としては、雪解けを待って、適切に対処する。

### 問 原発事故発生以来、

再生可能エネルギーが注目されてきており、特に小水力発電は、本町に適地が多くある。町として実証試験的に導入の考えはないか。

### 企画情報課長

小水力発電は、滝や砂

防ダムのように、大きな落差があり、年間を通して安定した水量の確保が可能な場所を選定すれば、低コストで安定的な発電が期待できるが、設置までには様々な許認可等の手続が必要で、発電等の整備費が高額になる。

町としては、助成制度を活用し、平成24年度には専門家を招致して、適地調査等の作業を行っていくとともに、導入については、これらの調査結果を踏まえて検討をしていく。



問 町民バス「野沢・坂下線」を増便できないか

答 増便は考えていない

青木照夫議員



町民バス「野沢坂下線」

問 住民の多くが坂下厚生総合病院に通院している。車の運転ができない患者にとって、通院が極めて不便であるとの声がある。町民バスの路線であることから、増便はできないか。

町民バス「野沢・坂下線」の主たる目的は、西会津高校への通学利用である。

平成22年には通院利用者の利便性向上のため、昼の便を増便しており、利用者からは概ね満足いただいている。

問 認知症サポーター養成講座を実施し、修了者にオレジンリングを配布しているが、着けている人を見かけない。なぜ着けている人がいないのか、要因などを伺う。

健康福祉課長

認知症サポーター養成講座は、認知症への正しい理解を目的としていたため、認知症の方々への直接的な支援までには至っていない。

今後、講座を職場や各種団体に広げていき、サポーターの皆さんがオレジンリングを着けて、認知症に関する様々な支援活動が展開されていくと考える。

# 東日本大震災復興基金を設置

## 平成24年第1回・第2回議会臨時会報告

今年初めてとなる第1回議会臨時会を1月20日に開会し、東日本大震災復興基金条例と一般会計補正予算の議案2件を審議し、原案のとおり可決しました。

また、2月13日には第2回議会臨時会を開会し、一般会計補正予算の議案1件を審議し、原案のとおり可決しました。

### 第1回議会臨時会

#### ■東日本大震災復興基金 条例

本町における東日本大震災からの復興に向け、住民生活の安定や地域経済の振興のため、県補助金である市町村復興支援交付金、1億4,337万5千円を原資とし、東日本大震災復興基金を設置する条例が議案として提出され、審議の結果、全会一致で可決されました。

#### ◆質疑

長谷沼清吉議員

この基金は、いつまでに使うことになるのか。具体的な使い道は。

健康福祉課長

県では概ね5年から10

年という話であるが、本町では3年から5年程度の中で、重点的に活用していきたい。

具体的な使い道は、平成24年度以降の予算に一定額を取り崩しながら、防犯防災等の地域の安全にかかる経費や住民のモニタリング、健診等の健康保持にかかる経費など、交付金の趣旨に沿った事業に活用していく。

#### ■一般会計補正予算（第12次）

東日本大震災復興基金への積み立て、高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成事業など、歳入歳出それぞれ、2億5,440万8千円を増額しました。

### 第2回議会臨時会

#### ■一般会計補正予算（第13次）

豪雪対策本部が設置されたことに伴い、高齢者世帯等に対する除排雪経費の給付事業費や緊急に対応すべき除排雪等対策経費など、歳入歳出それぞれ、6,608万5千円を増額しました。

#### ◆質疑

青木照夫議員

高齢者等に対する除雪経費の補助は、豪雪対策本部設置前に実施した世帯も該当になるか。

健康福祉課長

これまでもそうであったが、豪雪対策本部設置前の除排雪の経費も対象とする。



# インタビュー

このコーナーでは、各方面で活躍されている町民の方々をインタビューを通して紹介します。今回は、西会津小学校PTA副会長の市橋修一さん（上野尻）です。

—西会津小学校に対する期待は。

「児童も本気」教職員も本気「保護者も本気」の教育を実践し、「子どもを育てるなら西会津小学校で」と言われるようになってほしいです。

—新しい校章・校歌に対する感想は。

5つの小学校の児童が、仲良くできるようなとの願いがこめられた校章は、子ども目線で親しみやすく、好感が持てます。

学校教育のあるべき姿、児童のあるべき姿の道標となる、とてもありがた



新しい小学校に期待している市橋修一さん

## プロフィール

住 所：上野尻（群岡）  
年 齢：53歳  
家族構成：祖父、母、妻、子ども3人の7人家族  
趣 味：釣り

い校歌だと思っています。

—PTAとして西会津小学校がどんな学校となることを望みますか。

まずは、5校の児童が楽しく学校生活を送れること。そして、5校の特性を活かし、どの学校よりも素晴らしい小学校を創造すること。生活態度が立派な児童に育成すること。それを実現することが、閉校した5校に対する敬意であると思っています。

—町議会や町に望むことは。

子どもたちは、将来を背負う町の宝です。その宝を磨くため、小中一貫校の実現に向けて、全力をあげてほしいです。

また、児童数の減少に歯止めをかけること。さらには、児童数は増加させるような施策を町議会や町に望みます。

—ご協力ありがとうございました。今後もご活躍を期待しています。

# 議会の動き

## 議会運営委員会

—議会基本条例の制定に向けて—

本町議会では、精力的に議論を重ね、議会基本条例の制定に鋭意取り組んでいます。これに合わせ、議会運営委員会では、2月14日から16日にかけて視察研修を行いました。議会基本条例と議会議員倫理条例を同時に制定し、活発な議会活動をしている埼玉県三芳町議会を視察しました。



活発な議会活動を学ぶ  
(埼玉県三芳町議会での研修)

三芳町議会では、住民の議会への関心を高めるとともに、開かれた議会運営と活性化に資するため、土・日曜日や夜間に議会を開会していました。

また、住民の声を聞くために議会報告会を開催し、議会活動における情報の提供や、住民からの意見や提言を直接聴取する機会を設けていました。また、東京にある全国町村議会議長会では、地方自治法の改正動向や全国的な町村議会の動向などを研修しました。そして、本町の議会基本条例の素案等についても指導を受けてきました。

# 編集後記

◆3月議会は予算が決定される重要な議会です。12名全議員が、何らかの課題を持って質問をし、町のことを考え真剣に討議をしました。

◆4月から新しく西会津小学校が開校しました。それから、デマンド方式による町民バスが運行されました。いずれも新しい試みであり、これが大変になると思います。

◆広報特別委員会は、町民の皆さんに議会で話したことを、わかりやすく報告していきたいと思っております。よろしくお願いたします。  
(鈴木満子)

- 編集委員 鈴木満子
- 委員長 渡部 憲
- 副委員長 三留正義
- 委員 猪俣常三
- 委員 清野佐一

にしあいづ議会だより

No. 117

発行 福島県西会津町議会  
編集 議会広報特別委員会

〒969・4495 福島県耶麻郡西会津町野沢字下小屋上乙3261  
☎0241・45・4537  
e-mail gikai@town.nishiaizu.fukushima.jp